マンスリーレポート

スマート・ファイブ
（年3.6%目標分配プラス・奇数月決算型）

データは2026年10月30日現在

ファンドの特色

1 主として、収益が期待できる5つの資産を投資対象とし、
基準価額の変動を抑えながらも、収益の獲得をめざします。

2 基準価額の変動抑制効果を高めながら魅力的な収益を
追求することをめざして、5資産の配分比率を決定します。
また、この比率は定期的に見直します。

3 年6回、奇数月に決算を行ないます。

※ 基準価額（決算日前営業日の基準価額）に対し、年率で3.6%の分配金を支払うことを目標として、年6回の決算時に0.6%の分配金の支払いをめざします。また、1月の決算日前営業日に基準価額が10,300円（1万口当たり）以上の場合には、通常の0.6%に1%を加味した1.6%の分配金の支払いをめざします。

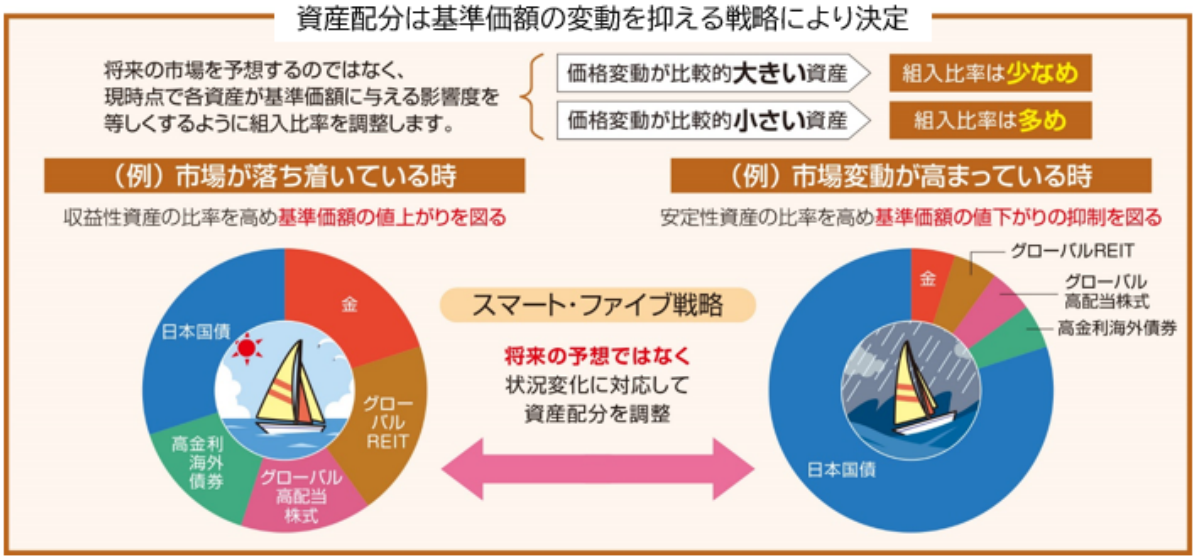
※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

当ファンドの投資対象資産



投資対象資産の配分



※価格変動などに関する説明は一般論であり、実際はこれと異なる値動きをする場合があります。また、「スマート・ファイブ戦略」の資産配分はイメージです。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

「スマート・ファイブ」は収益が期待される5つの資産に賢く分散投資

資産運用というと株式やREITなど、値上がり期待の大きい資産に目が向きがちですが、長い目で見れば結果的に、安定的な運用成果が期待できるバランスファンドの方が適しているとも言われます。

ただし、「バランスファンドなら何でもよい」というわけではなく、「頼れるバランスファンド」を選ぶことが重要となります。

投資対象資産とその期待される投資効果

日本国債



日本国債の中で、超長期国債（残存期間が10年以上の国債）を中心に投資します。

【期待される収益・効果】

- 為替変動リスクがなく、相対的に安定的な値動き
- 利子収益

グローバル高配当株式



世界各国の配当利回りが高い株式（高配当株式）に投資を行ないます。

【期待される収益・効果】

- 配当収益
- 株価の値上がり益

金



金価格への連動をめざす金ETF（金上場投信）などを通じ、金への実質的な投資を行ないます。

【期待される収益・効果】

- 他の4資産とは異なる価格特性による高い分散効果
- 金価格の値上がり益

高金利海外債券



G20構成国の中から、金利水準が高いソブリン債に投資します。

【期待される収益・効果】

- 相対的に高い利子収益

グローバルREIT



世界の上場不動産投信（REIT）を中心に投資を行ないます。

【期待される収益・効果】

- 相対的に高い分配金利回り
- REIT価格の値上がり益



投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

値動きの異なる傾向にある５つの資産を組み合わせる効果

単一資産で運用すると、運用成果が投資環境によって大きく左右される場合があります。当ファンドでは、値動きが異なる傾向にある5つの資産を組み合わせることにより、基準価額の変動を抑えながらも、収益の獲得をめざします。



※価格変動などに関する説明は一般論であり、実際はこれと異なる値動きをする場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

「スマート・ファイブ」が投資を行なう特徴的な資産

「スマート・ファイブ」では、超長期国債や金といった資産に投資を行なうことで、資産全体のバランスを整えることをめざしています。

特徴的な資産❶ 「超長期国債」



日本国債

- 日本国債の部分は超長期国債を中心に運用します。
- 主に年金基金や保険会社など、利回りを追求する機関投資家が購入する10年超の国債で、個人が直接買うのは困難な債券です。
- 市場混乱時のクッション効果も期待されます。





金

特徴的な資産❷ 「金」

- 市場が混乱する時などは有事の金として評価される傾向があります。
- その価値がゼロになりにくい実物資産としての安心感や、代替通貨としての価値も併せ持っています。
- 他の資産とは価格特性の異なる金を組み入れることで、分散効果が期待できます。

実物資産 である金

- 腐食などによって劣化しない
- 産業用・宝飾品としての需要
- 金自体としての資源価値を持つ

安全資産 である金

- 株式、債券などと異なり企業倒産などと無縁
- 実物として保管できる
- 地域を問わず同一価値を持つ



※ 上記は一般論であり、実際はこれと異なる場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

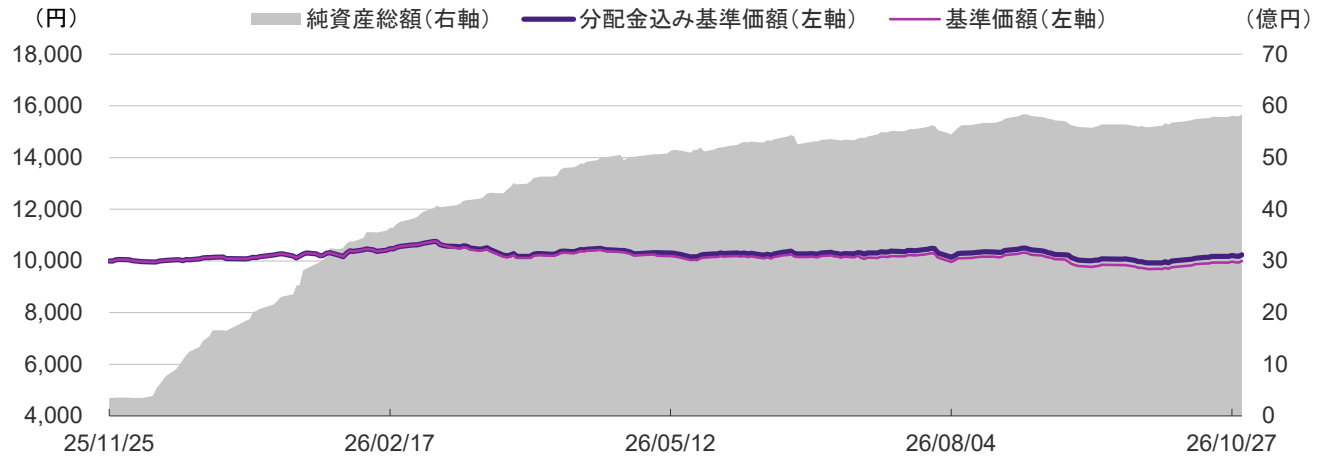
スマート・ファイブ（年3.6%目標分配プラス・奇数月決算型）

設　定　日：	2025年11月25日	償　還　日：	無期限	決　算　日：	原則、奇数月の各8日
収 益 分 配：	決算日毎	基 準 価 額：	9,993円	純資産総額：	58.31億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

【基準価額の推移】



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

【基準価額の騰落率】

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
2.64%	-0.70%	-1.00%	-	-	2.35%

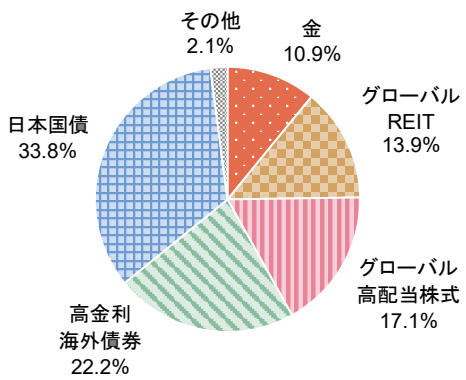
※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

【分配金実績（税引前）】

設定来合計	直近12期計	26/3	26/5	26/7	26/9
245円	245円	63円	61円	61円	60円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

【資産構成比率】



※比率は当ファンドの純資産総額比です。

【通貨別構成比率上位10通貨】

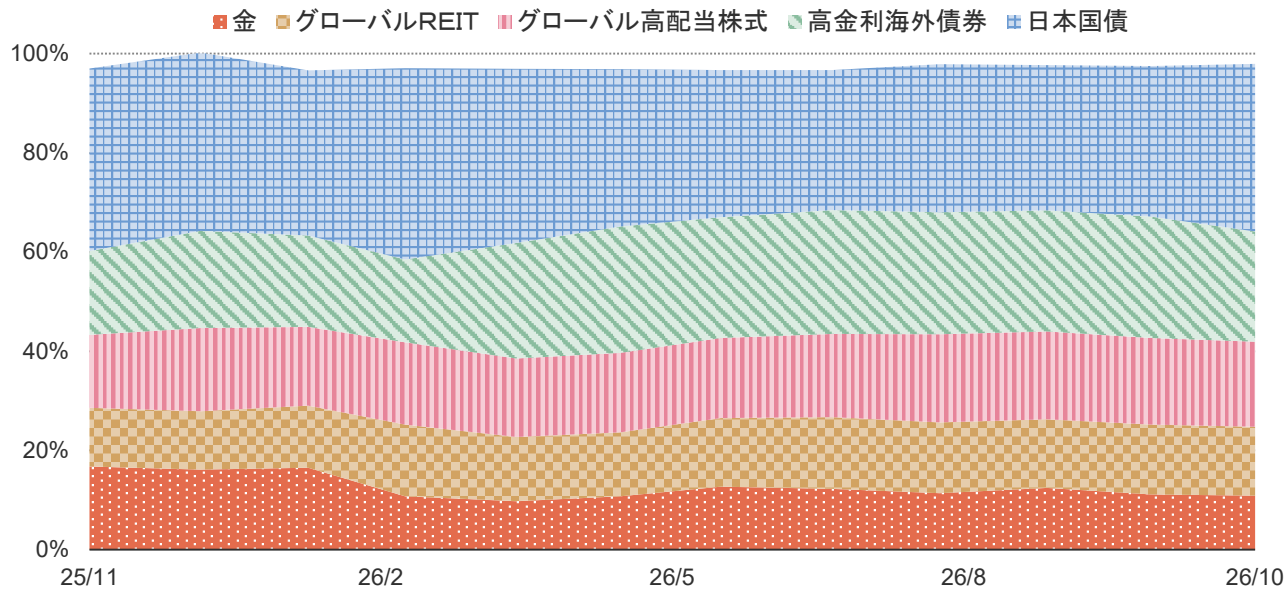
通貨名	比率
日本円	37.5%
アメリカドル	36.4%
イギリスポンド	6.4%
カナダドル	4.6%
オーストラリアドル	3.3%
韓国ウォン	2.8%
ユーロ	2.7%
メキシコペソ	2.5%
インドネシアルピア	1.9%
スイスフラン	0.9%

※当ファンドの主要投資対象であるマザーファンドや外国投資信託などの組入比率をもとに計算した概算値です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

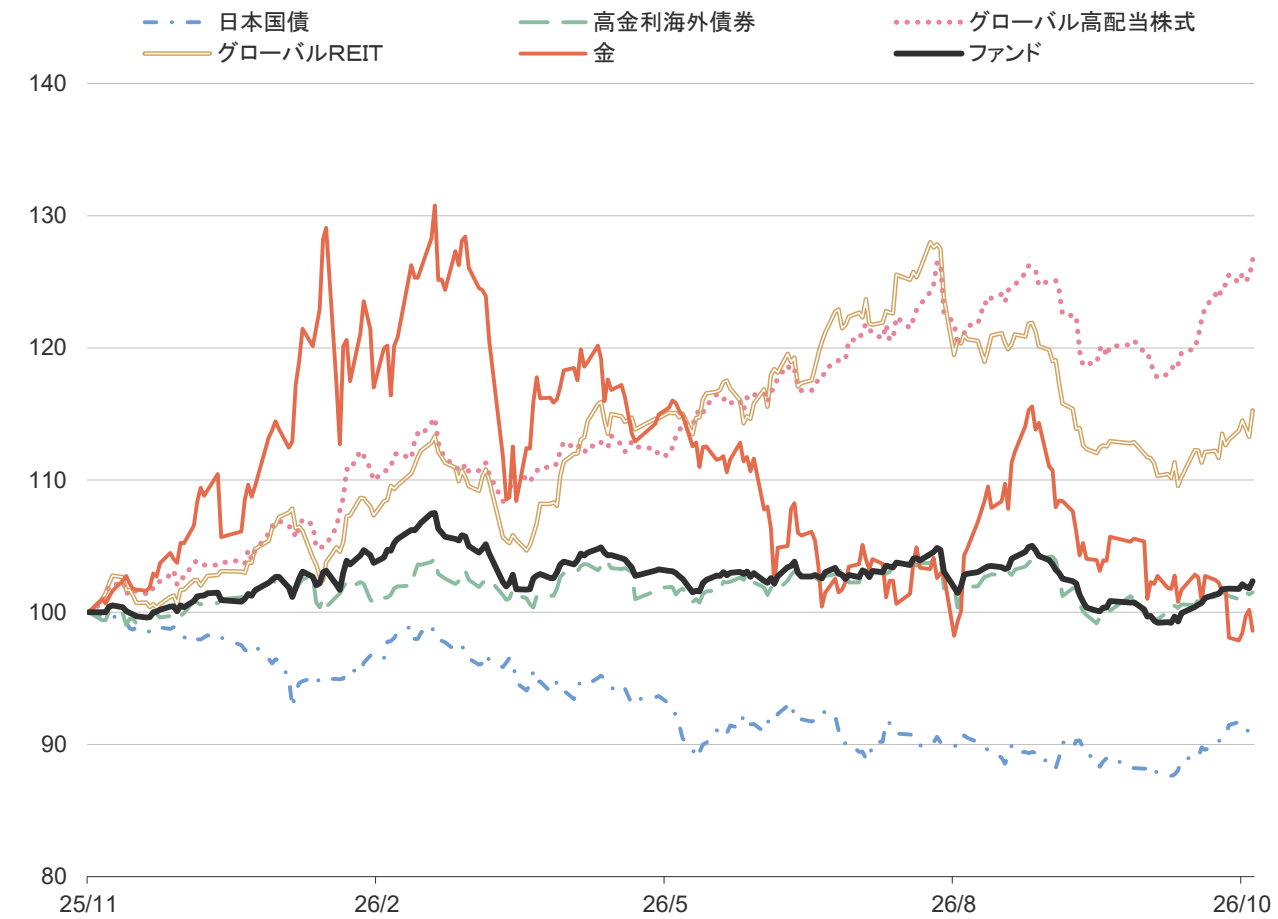
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

【資産構成比率の推移】



※比率は当ファンドの純資産総額比です。計理処理の関係で合計が100%を超える場合があります。

【ファンドと各資産の価格推移】（設定日の前営業日を100として指数化）

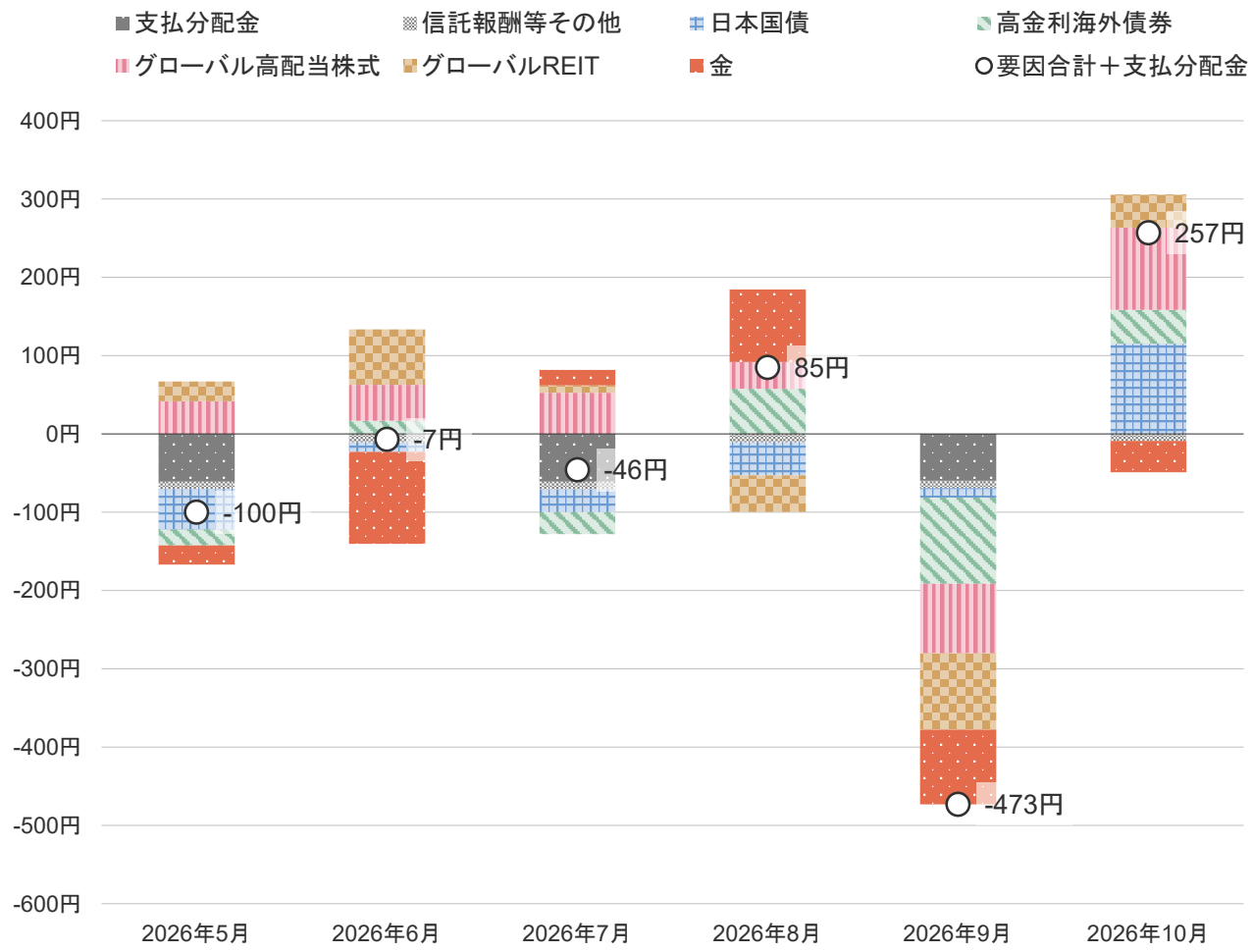


※ファンドは、税引前分配金再投資ベースのパフォーマンスです。
※主要資産は、当ファンドが投資対象とする投資信託（マザーファンドおよび外国籍投資信託など）のパフォーマンスです。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

【基準価額騰落の要因分解】（直近6ヵ月および直近1年間）



			2026年5月	2026年6月	2026年7月	2026年8月	2026年9月	2026年10月	直近1年間
前月末基準価額			10,277円	10,177円	10,170円	10,124円	10,209円	9,736円	10,000円
支払分配金			-61円	0円	-61円	0円	-60円	0円	-245円
要因	日本国債	日本超長期国債マザーファンド	-52円	-12円	-29円	-42円	-12円	115円	-265円
	高金利海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	-20円	17円	-28円	57円	-110円	43円	30円
	グローバル高配当株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	42円	46円	53円	34円	-89円	105円	365円
	グローバルREIT	グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	25円	71円	9円	-47円	-98円	42円	163円
	金	ゴールド・マザーファンド	-25円	-118円	20円	92円	-95円	-40円	54円
	信託報酬等その他		-9円	-11円	-10円	-11円	-9円	-9円	-108円
合計			-39円	-7円	15円	85円	-413円	257円	238円
当月末基準価額			10,177円	10,170円	10,124円	10,209円	9,736円	9,993円	9,993円

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。
※直近1年間の「前月末基準価額」には設定日の基準価額を表示しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎運用概況

2026年10月に資産配分（目標組入率）を変更しました。9月と比較し、当社推計に基づく推計リスクは、日本国債でほぼ横ばいとなった一方で、その他の資産では上昇となりました。リスクがほぼ横ばいであった日本国債を3.9%（30.3%から34.2%）、リスクの上昇率が比較的小さかった金を0.1%（11.6%から11.7%）それぞれ引き上げ、高金利海外債券を2.2%（25.4%から23.2%）、グローバル高配当株式を1.2%（18.1%から16.9%）、グローバルREITを0.6%（14.6%から14.0%）それぞれ引き下げました。（実際の資産配分比率については、時価その他の要因の変動、影響等により、必ずしも上述の数値とは一致しません。）

◎今後の見通し

今後も各資産のボラティリティと資産間の相関係数の推移をモニターし、各資産の基準価額への影響度合いが概ね均等になるような資産配分戦略を用いて、特定の資産から受ける影響を抑えることをめざします。また、この戦略による資産配分を定期的に見直すことで、基準価額の変動抑制効果を高めるとともに、魅力的な収益の獲得をめざします。

◎市場環境

日本国債市場は上昇しました。上旬は欧米の長期金利上昇や日銀の追加利上げ観測が意識される一方、国債入札での安定した需要が支えとなり、金利は概ね横ばいで推移しました。中旬以降はAI（人工知能）関連投資への懸念から国内外の株価が下落し、安全資産である国債への買いが強まりました。さらに、米国債利回りの低下やインフレ期待の落ち着きも支えとなり、金利は低下基調となりました。

高金利海外債券市場は上昇しました。海外先進国債券市場では、上旬は米国の追加利上げ観測の後退や国債入札の堅調さを背景に、金利は低下しました。中旬以降はAI関連企業の財務不安による世界的な株安を受け、安全資産である国債への需要が強まりました。さらに、フランスの財政・社会不安から同国の金利は上昇したものの、米国やドイツを中心に国債が買われ、月を通じて金利は低下しました。一方、新興国債券市場は、上旬は米国の追加利上げ観測の後退や米国債利回りの低下を背景に、堅調に推移しました。中旬は米金利低下が支えとなる一方、原油高や世界的な株安への警戒感から概ね横ばいとなりました。下旬はAI関連投資への懸念やフランスの社会不安を受けた投資家心理の悪化が重しとなり、軟調に推移しました。高金利海外債券市場では韓国市場やメキシコ市場の上昇が目立ちました。

グローバル高配当株式市場は上昇しました。米国株式市場は、上旬は原油高が意識されたものの、国債利回りの上昇の一服、企業決算への期待から堅調に推移しました。中旬以降は中国との半導体競争やAI関連企業の信用・財務不安が重しとなり、関連株を中心に軟調となりましたが、好決算を受けた他業種への買いが下支えしました。欧州株式市場は、前半は中東情勢やフランスの財政問題への警戒感から軟調となった後、企業業績の堅調さを支えに上昇しました。後半は原油高やフランスの景気停滞懸念が重しとなり、概ね横ばいで推移しました。日本株式市場は、上旬は米国の利上げ観測の後退や半導体関連企業の好業績を背景に、AI関連株を中心に堅調に推移しました。中旬以降は、中国企業との競争激化や米新興クラウド企業の信用不安からAI関連株が大幅に下落しました。良好な企業業績が下支えとなる一方、国内長期金利の低下を受けて銀行株などが売られ、月末にかけて軟調となりました。

グローバルREIT市場は上昇しました。北米REIT市場は、前半は長期金利の動向をにらみながら、概ね横ばいで推移しました。後半はAI関連投資への懸念から株式市場が軟調となるなか、REITへの資金シフトや長期金利の低下が追い風となり、堅調に推移しました。欧州REIT市場は、上旬はエネルギー高による物価上昇への警戒感やフランスの財政不安が重しとなり、下落しました。中旬以降は英国の金融引き締め観測の後退や長期金利の低下が支えとなり、上昇しました。フランスの社会不安が重しとなる場面もありましたが、英国市場を中心に堅調に推移しました。

金価格は下落しました。前半は米国の追加利上げ観測やドル高が重しとなる一方、米長期金利の低下が支えとなり、概ね横ばいで推移しました。後半は米長期金利が低下する場面もありましたが、AI関連株の急落を受けた投資家の持ち高整理や金ETFからの資金流出が売り圧力となり、下落基調となりました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

各資産の運用状況

日本国債

※当ファンドが組み入れている「日本超長期国債マザーファンド」の内容です。
※比率は当マザーファンドの純資産総額比です。

【基準価額の騰落率】

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
3.60%	1.75%	-1.57%	-	-	-8.38%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※＜設定来＞は「スマート・ファイブ（年3.6%目標分配プラス・奇数月決算型）」の設定日からの騰落率です。

【種別構成比】

種別	比率
国債	95.3%
その他債券	0.0%

【利回りなど】

平均残存年数	18.97年
平均最終利回り	3.43%

※信託報酬などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

【組入上位10銘柄　(銘柄数 47銘柄)】

	銘柄名	比率	残存年数
1	第１９５回利付国債（２０年）	3.6%	19.15年
2	第９０回利付国債（３０年）	3.4%	29.41年
3	第９１回利付国債（３０年）	3.2%	29.66年
4	第１８３回利付国債（２０年）	3.2%	16.15年
5	第１９７回利付国債（２０年）	2.8%	19.65年
6	第１７８回利付国債（２０年）	2.8%	14.90年
7	第１７９回利付国債（２０年）	2.8%	15.15年
8	第１９６回利付国債（２０年）	2.7%	19.40年
9	第８９回利付国債（３０年）	2.5%	29.16年
10	第１８２回利付国債（２０年）	2.5%	15.90年

【残存年数別構成比】

残存年数	比率
0～5年	0.0%
5～10年	0.0%
10～15年	25.5%
15～20年	32.9%
20～25年	15.0%
25年以上	21.9%

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

高金利海外債券

※当ファンドが組み入れている「高利回りソブリン債券インデックスファンド」の内容です。
※比率は当外国投資信託の組入公社債時価総額比です。

【基準価額の騰落率】

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
1.94%	-0.29%	-1.49%	-	-	1.51%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※＜設定来＞は「スマート・ファイブ（年3.6%目標分配プラス・奇数月決算型）」の設定日からの騰落率です。

【組入上位5通貨】

	通貨名	比率
1	アメリカドル	20.2%
2	イギリスポンド	20.1%
3	カナダドル	15.0%
4	韓国ウォン	12.8%
5	オーストラリアドル	11.9%

【残存年数別構成比】

残存年数	比率
1年未満	0.1%
1～3年	25.0%
3～7年	30.6%
7～10年	16.1%
10年以上	28.3%

平均残存年数	10.31年
平均格付	ＡＡ

※格付はMoody's、S&P、Fitchの順に優先して適用しています。
※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

【ご参考：利回りなど】

平均最終利回り	5.30%

※当ファンドが連動目標としている以下の指数を構成する資産の基準日時点での平均最終利回りです。
ブルームバーグ・インターナショナル・ハイインカム・ソブリン・インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※「Bloomberg®」およびブルームバーグ・インターナショナル・ハイインカム・ソブリン・インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよび同インデックスの管理者であるブルームバーグ・インデックス・サービス・リミテッドをはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、高利回りソブリン債券インデックスファンドの管理会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当該ファンドの管理会社とは提携しておらず、また、当該ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当該ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

※当外国投資信託の利回りではありません。
※利回りは将来の運用成果等を約束するものではありません。
※信頼できると判断した情報をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

グローバル高配当株式

※当ファンドが組み入れている「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」の内容です。
※アモーヴァ・アセットマネジメント・UKリミテッドより提供された情報です。
※比率は当外国投資信託の組入株式時価総額比です。

【基準価額の騰落率】

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
6.57%	3.23%	12.20%	-	-	26.68%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※＜設定来＞は「スマート・ファイブ（年3.6%目標分配プラス・奇数月決算型）」の設定日からの騰落率です。

【組入上位5通貨】

	通貨名	比率
1	アメリカドル	60.2%
2	ユーロ	12.6%
3	日本円	7.2%
4	イギリスポンド	6.4%
5	スイスフラン	5.3%

【組入上位5ヵ国】

	国名	比率
1	アメリカ	60.2%
2	日本	7.2%
3	イギリス	6.4%
4	スイス	5.3%
5	カナダ	3.5%

【組入上位5業種】

	業種名	比率
1	ヘルスケア	21.0%
2	生活必需品	15.3%
3	金融	15.2%
4	エネルギー	12.9%
5	資本財・サービス	11.2%

【ご参考：利回りなど】

株式配当利回り	3.10%

※株式部分についての数値です。
※株式配当利回りは将来の運用成果等を約束するものではありません。

【組入上位10銘柄 （銘柄数 129銘柄）】

	銘柄名	国名	業種名	比率
1	Chevron Corporation	アメリカ	エネルギー	3.7%
2	Johnson & Johnson	アメリカ	ヘルスケア	2.7%
3	Texas Instruments Incorporated	アメリカ	情報技術	2.5%
4	Coca-Cola Company	アメリカ	生活必需品	2.5%
5	Merck & Co., Inc.	アメリカ	ヘルスケア	2.2%
6	Gilead Sciences, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	2.0%
7	Shell Plc	イギリス	エネルギー	1.9%
8	Home Depot, Inc.	アメリカ	一般消費財・サービス	1.8%
9	AbbVie, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	1.8%
10	Roche Holding Ltd	スイス	ヘルスケア	1.7%

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

グローバルREIT

※当ファンドが組み入れている「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」の投資先である「世界REITマザーファンド」の内容です。

【基準価額の騰落率】

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
3.24%	-6.88%	0.48%	-	-	15.27%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※＜設定来＞は「スマート・ファイブ（年3.6%目標分配プラス・奇数月決算型）」の設定日からの騰落率です。

【組入上位5通貨】

	通貨名	比率
1	アメリカドル	79.3%
2	イギリスポンド	5.7%
3	オーストラリアドル	4.4%
4	カナダドル	3.8%
5	ユーロ	3.6%

※比率は当マザーファンドの組入不動産投信時価総額比です。

【組入上位5ヵ国】

	国名	比率
1	アメリカ	79.3%
2	イギリス	5.7%
3	オーストラリア	4.4%
4	カナダ	3.8%
5	日本	2.2%

※比率は当マザーファンドの組入不動産投信時価総額比です。

【セクター別構成比】

セクター名	比率
特化型	27.1%
産業施設（工場等）	16.7%
住宅（マンション等）	15.5%
ヘルスケア	15.5%
小売（商業施設等）	13.0%
オフィス（ビル等）	4.9%

※比率は当マザーファンドの組入不動産投信時価総額比です。

【ご参考：利回りなど】

予想分配金利回り	4.08%

※不動産投信部分についての数値です。
※予想分配金利回りは、当社が信頼できると判断したデータに基づき、月末時点での各組入不動産投信の予想分配金利回りを、マザーファンドの純資産総額に対する各組入不動産投信のウェイトで加重平均した概算値です。信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）等は考慮されておらず、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

【組入上位10銘柄　（銘柄数 52銘柄）】

	銘柄名	国名	セクター名	比率
1	EQUINIX INC	アメリカ	特化型	9.5%
2	WELLTOWER INC	アメリカ	ヘルスケア	9.4%
3	PROLOGIS INC	アメリカ	産業施設（工場等）	7.2%
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	小売（商業施設等）	4.6%
5	PUBLIC STORAGE	アメリカ	特化型	4.4%
6	VIVMARK RESIDENTIAL	アメリカ	住宅（マンション等）	4.1%
7	SABRA HEALTH CARE REIT INC	アメリカ	ヘルスケア	2.6%
8	GAMING AND LEISURE PROPERTIE	アメリカ	特化型	2.5%
9	SUN COMMUNITIES INC	アメリカ	住宅（マンション等）	2.3%
10	AMERICAN HOMES 4 RENT- A	アメリカ	住宅（マンション等）	2.3%

※比率は当マザーファンドの純資産総額比です。※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

金

※当ファンドが組み入れている「ゴールド・マザーファンド」の内容です。

【基準価額の騰落率】

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-3.60%	-4.13%	-13.16%	-	-	-1.41%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※＜設定来＞は「スマート・ファイブ（年3.6%目標分配プラス・奇数月決算型）」の設定日からの騰落率です。

【資産構成比】

種　別	比率
ETF	99.4%
金先物	0.6%
現金その他	0.6%

【組入上位5銘柄　（銘柄数 3銘柄）】

	銘　柄　名	通　貨　名	比率
1	SPDR GOLD MINISHARES TRUST-ETF	アメリカドル	52.3%
2	ISHARES GOLD TRUST MICRO-ETF	アメリカドル	40.6%
3	ISHARES GOLD TRUST-ETF	アメリカドル	6.5%
4			
5			

※比率は当マザーファンドの純資産総額比です。※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 主として、収益が期待できる5つの資産を投資対象とし、基準価額の変動を抑えながらも、収益の獲得をめざします。

- 中長期的に収益が期待できる5つの資産（日本国債、海外債券、グローバル株式、グローバルREIT、金）を主要投資対象とします。
- 値動きが異なる傾向にある5つの資産を組み合わせることにより、基準価額の変動を抑えながらも、収益の獲得をめざします。

2 基準価額の変動抑制効果を高めながら魅力的な収益を追求することをめざして、5資産の配分比率を決定します。また、この比率は定期的に見直します。

- 各資産の基準価額への影響度合いが、5資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略（スマート・ファイブ戦略）を用いて、基準価額が、特定の資産から受ける影響を抑えることをめざします。
- また、この戦略による資産配分を定期的に見直すことで、基準価額の変動抑制効果を高めるとともに、魅力的な収益の獲得をめざします。

※5資産の合計組入比率は、高位を保つことを原則としますが、市況動向に急激な変化が生じた場合などにおいては、組入比率を引き下げる場合があります。

3 年6回、奇数月に決算を行ないます。

- 原則として、奇数月の各8日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行ないます。

※基準価額（決算日前営業日の基準価額）に対し、年率で3.6%の分配金を支払うことを目標として、年6回の決算時に0.6%の分配金の支払いをめざします。また、1月の決算日前営業日に基準価額が10,300円（1万口当たり）以上の場合には、通常の0.6%に1%を加味した1.6%の分配金の支払いをめざします。

※毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2025年11月25日設定）
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各8日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し2.2%（税抜2%）以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対し年率1.47175%（税抜1.3525%）以内が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1%（税抜1%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.37175%（税抜0.3525%）以内となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、委託会社が算出した上限値です。当該上限値は、投資対象とする投資信託証券の想定される組入比率に基づき委託会社が算出したものですが、当該投資信託証券の変更などにより見直すことがあります。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.amova-am.com 〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

・当ファンドは、主に債券、株式、不動産投信および金上場投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式、不動産投信および金上場投信の価格の下落や、債券、株式、不動産投信および金上場投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

［価格変動リスク］

・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

・新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

・不動産投信は、不動産や不動産証券化商品に投資して得られる収入や売却益などを収益源としており、不動産を取り巻く環境や規制、賃料水準、稼働率、不動産市況や長短の金利動向、マクロ経済の変化など様々な要因により価格が変動します。また、不動産の老朽化や立地条件の変化、火災、自然災害などに伴なう不動産の滅失・毀損などにより、その価格が影響を受ける可能性もあります。不動産投信の財務状況、業績や市況環境が悪化する場合、不動産投信の分配金や価格は下がり、ファンドに損失が生じるリスクがあります。

・金上場投信は、連動目標とする金地金価格の変動の影響を受けます。金市場は、金の需給関係、為替・金利の変動、政府の規制・介入、投機家の参入など様々な要因により変動します。金地金の価格が下落する場合、金上場投信の価格は下がり、ファンドに損失が生じるリスクがあります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

［流動性リスク］
・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
・新興国の債券は、先進国の債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

［信用リスク］
・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。
・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
・不動産投信が支払不能や債務超過の状態になった場合、またはそうなることが予想される場合、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

［為替変動リスク］
・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

［カントリー・リスク］
・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

〇その他の留意事項
・当資料は、投資者の皆様に「スマート・ファイブ（年3.6%目標分配プラス・奇数月決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は　アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは
※下記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第16号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
豊証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第21号	○			

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

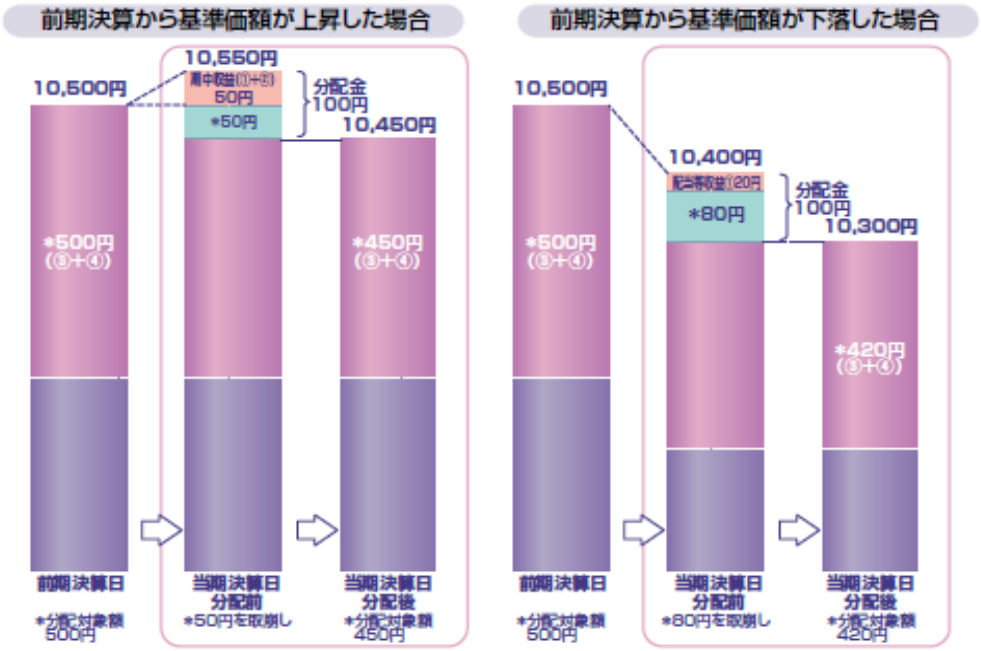
●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

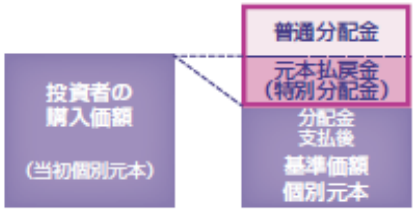
計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



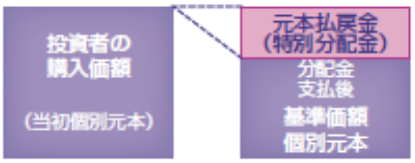
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

・普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。